

広報にしあいづ

平成
30年
1月号

January.2018 No.711

Nishiaizu

・インダフルな一年に
なりますように

もくじ - Contents -

新春特集 新年の抱負 年男・年女インタビュー P4~

P 2 新年のごあいさつ

P 6 まちの話題

西中アントレプレナーシップ・スクール、こども園発表会 ほか

P 10 町からのお知らせ&ニュース

自治功労者表彰式、12月町議会定例会報告 ほか

特別とじ込み

「西会津町総合計画」検討会議委員募集

成



西会津町議会議長 武藤道廣



西会津町長 薄友喜

慶春

明けまして、おめでとうございませう。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に對しまして多大なるご支援とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

新年明けましておめでとうございませう。輝かしい平成30年の新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを心よりお慶び申し上げます。私は、選挙を

通じて、住民本位の政治を基本に据えた「誠実で責任ある行政」「正確で結果を出す町政」を信条に、私利私欲を捨て、公平・公正な町政運営と、活気ある西会津町を取り戻すため本気で汗を流すことを訴えてまいりました。本年は、そのスタートとなる最も重要な年であります。重大な決意の下、町民の皆様にご協力を賜りました政策を一つ一つ

着実に実行していく覚悟であります。今、本町の最大の課題は、何と云っても人口減少問題であります。この人口減少に歯止めをかけるため、内向きの町政運営を外向きに転換し、将来に向かつて夢と希望が持て、また、実現できる、魅力あるまちづくりに取り組むことが私に課された最大の責務であると考えております。そのためには、国、県とのパイプを最大限に生かすとともに、西会津町の応援隊を拡充し、次の施策を進めていきます。

本年が皆様にとって心に残る豊かで幸多い年となりますようご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

【町民の代表として】さて、町は、人口減少問題や少子高齢化など、さまざまな行政課題に対する施策を鋭意進めています。町議会は、それらの施策をチェックする機関としての責務を果たすため、議論を重ね速やかに対応してきたところ

【明るい未来に向け】本年は「戌年」です。干支の特徴は、「勤勉で努力家」とあります。勤勉と努力が素晴らしい成果を生み出すことを意味しています。まちづくりは、時代の潮流とともに斬新な発想を必要としており、旧来のまちづくりでは未来を切り拓いていくことはできません。人口減少・少子高齢化など、本町における多くの課題に対し、正面から向き合い、研修を重ね、町へ政策提言を行っていきたく

【協働のまちづくり】私も議会は、この新しい年にあたり、町民の皆様と議会、町と議会の絆をしっかりとつなげながら、西会津町を誇りとし、「西会津町に住んでいて良かった」と真に喜びを実感できるような、魅力あるまちづくりの実現に向けて今後も継続して努力し、町民の皆様のご協力を賜りますよう全力を尽くしてまいります。本年も町議会に対し、特段のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。ご多幸を心からご祈念申し上げます。

新年の抱負



ただし
仲川 忠さん
昭和 33 年生まれ 平明

月並みではありますが、今年も家族みんなが健康で元気に過ごすことができれば、それが一番だと思います。また、去年は体調を崩して新潟シティマラソンに参加できなかったのが、今年は参加したいと考えています。山登りの体力づくりにと始めたマラソンですが、いつの間にか走ることに夢中になってしまい、会津若松市や福島市、猪苗代町などで開催される大会にも参加するようになりました。たくさんのランナーが一緒に駆け出すまでのあの雰囲気がいいですね。自分より年配の人が自分より速く走っているのを見ると励みになります。

今年も健康を維持して元気に山に登りつつ、走ることも楽しみたいです。

明けましておめでとうございます。平成 30 年となりました。今年の目標はもう決めましたか？
今月号では、恒例の新春特集として、今年の干支である「戌年生まれ」の皆さんに新年の抱負や夢を伺いました。
今年の目標をすでに決めている人にとっても、これから考える人にとっても、新たな一年が輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。



真弥さん 去年は、一昨年に生まれた一番下の娘が風邪やRSウィルスなどで体調を崩すことが多く、手がかかりっぱなしでした。家族の助けがなければやってこれなかったと思います。今年も、そうした家族への感謝の気持ちを忘れずに、仕事を頑張りながら、家族との時間を大切にしたいと思っています。できれば家族旅行にも行きたいですね。

美空さん 今年も勉強を頑張りたいと思っています。苦手なことから逃げず、特に国語の漢字を頑張りたいです。また、中学生になったらバレーボール部に入りたいので、お母さんに教えてもらいながら、バレーボールも頑張りたいです。



みく まや
橋本 美空さん 真弥さん
平成 18 年生まれ、昭和 57 年生まれ 上野尻

浩介さん 去年、息子が仙台に就職しました。仙台は夫婦ともに好きな街なので、息子の就職に安堵すると同時に、遊びに行く楽しみが増え、うれしく思っています。また、趣味の釣りではマトウダイを初めて釣り上げました。今年もまた釣ったことのない魚に出会えることを楽しみにしています。木工も好きなので、この先、晴耕雨読ならぬ「晴釣雨木」の日々を送れたらいいなあと思っています。

朋子さん 手芸や工芸など、クラフトが好きなので、今年さまざまな地域のクラフト展を巡ってみたいと思っています。また、これまでたくさんのセーターや、ヒロロ細工のかばんなどを作りましたが、今年は山ブドウのつるでかばんを編んでみたいです。



ともこ こうすけ
笠間 朋子さん 浩介さん
昭和 33 年生まれ 3 町内



ゆきひろ
矢部 幸彦さん
昭和 33 年生まれ 宮野

去年は一番下の娘が中学生になり、バレーボール部に入りました。夜間や休日に部活動の送迎などもあり、小学校のころとは違う体験ができました。自分が好きで選んだ部活動なので、最後まで諦めずに頑張っていました。

今年、還暦を迎えるとともに結婚 25 周年の銀婚を迎える、ひとつの節目の年です。あらためて健康に留意し、好きなお酒も少し控え、家族仲良く過ごせばいいと考えています。

また、農業も行っているの、おいしい米やソバを作りたいと思っています。特にソバは、香りの強いものを打ってみたいので、新しい品種も視野に入れてみようかと考えを巡らせています。



しげはる たかし
佐藤 茂春さん 水野 孝志さん
昭和 21 年生まれ、平成 18 年生まれ 森野

茂春さん 去年は家族みんなが健康に過ごせたので、比較的良い年だったと思います。今年も健康に留意しながら、家庭円満に過ごし、できれば妻と一緒にたくさん旅行に行きたいですね。

そして、12 年後にまた孫と一緒にここに出られるよう、元気に生活していきたいと思っています。

孝志さん 去年は沖縄交流に参加して、きれいな海で泳いだり、釣りをしたりと、楽しかった思い出が残っています。

今年も中学生になるので、部活を頑張りたいと思っています。サッカー部に入部してたくさん練習し、ブラジル代表のマルセロのような良い選手になれるよう頑張っていきます。



薄上幸一さんと長谷川恵一さんが町長室を訪問
秋の叙勲 薄町長に受章を報告

平成 29 年秋の叙勲が発令され、元町選挙管理委員会委員長として公正・公平な選挙運営に尽くした薄上幸一さんが旭日単光章を、元町消防団第 2 分団長として町民の生命と安全・安心の確保に尽くした長谷川恵一さんが瑞宝単光章を受章しました。2 人は 11 月 24 日に町役場を訪れ、薄町長に受章を報告しました。写真=左から長谷川さん、薄上さん、薄町長



須藤諒さんに会津地方振興局長賞
「税についての作文」で表彰

平成 29 年度中学生の「税についての作文」で西会津中 3 年の須藤諒さんが会津地方振興局長賞を受賞し、11 月 28 日、中学校校長室で表彰が行われました。戸田光昭会津地方振興局長から表彰状を受け取った須藤さんは、「作文を通して身近にいろいろな税があることをあらためて知りました」と、はにかみながら受賞の喜びをかみしめていました。



健康講演会に 200 人を超える来場
健康寿命の延伸に向け講演会

健康寿命の延伸に向けた講演会「健康講演会」が 12 月 9 日に開かれ、200 人を超える人が会場に詰め掛けました。講演は、近畿大学医学部長の伊木雅之先生による「いくつになっても元気で介護知らず」と、女子栄養大学栄養学部准教授の西村早苗先生による「カラダがよろこぶ食生活」の 2 本立てで、訪れた皆さんは興味深く聞き入っていました。



語り部による民話を楽しむ
第 6 回西会津民話まつり開催

第 6 回西会津民話まつりが 11 月 23 日に町公民館で開かれました。当日は、西会津語りの会の皆さんや、こども語り部の皆さんがさまざまな昔語りを披露したほか、特別ゲストとして奥会津伝統民話語り部の重鎮・五十嵐七重さん（三島町）による昔語りも行われ、訪れた皆さんは、どこか懐かしい方言まじりの民話を楽しんでいました。



西中でアントレプレナーシップ・スクール
アイデアづくりを学ぶ

12 月 7 日、西会津中の第 2 学年を対象にアントレプレナーシップ・スクールが開かれました。今回のテーマは「ミネラル野菜を生かした新たな商品開発」で、2 年生の皆さんが 9 つのグループに分かれてさまざまなアイデアを出し合いました。グループごとにアイデアを磨き上げていくと、野菜嫌いの人に食べてほしい「ミネラル野菜のふりかけ」や、ミネラル野菜×イタリアンで定番料理をつくる「ミネタリアン」、畑がなくてもミネラル野菜が栽培できる「ミネラル土壌キット」などの斬新な商品のアイデアが生まれました。今回は 1 日で行われたアントレプレナーシップ・スクールですが、3 学年時には 2 日間をかけ、よりじっくりとアイデアの出し方を学びます。

こども園で初めての「はっぴようかい」
練習の成果を元気に披露

こゆりこども園で初めての「はっぴようかい」が 11 月 25 日に開かれ、園児の皆さんが元気いっぱいに歌や踊り、創作劇などを発表しました。

最初の発表はひまわり組男児による「わんぱく風太鼓」で、勇ましい和太鼓演奏を披露し「はっぴようかい」の開幕を盛り上げました。

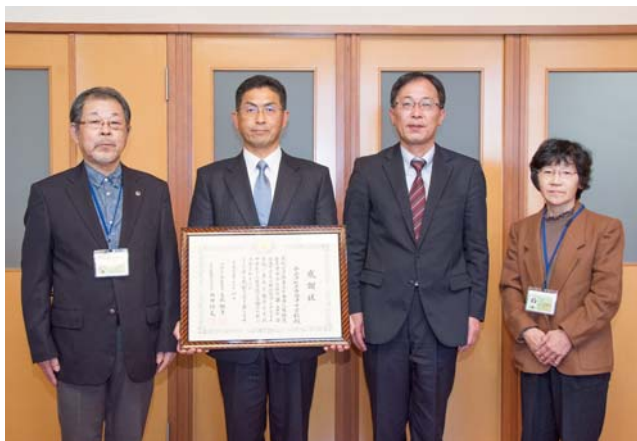
続いてちゅうりっぷ組による歌「ぼかばかてくてく」や、ゆり組女児による遊戯「PAN-PAKA-PAN」、たんぼ組によるうた遊び「手遊びメドレー・おもちゃのチャチャチャ」などが発表され、一生懸命練習の成果を披露する園児たちの姿に、訪れた皆さんは惜しみない拍手を送りました。





第4分団・新村班と第5分団・飯沢班に配備
消防小型動力ポンプを引き渡し

12月4日、消防小型動力ポンプ引き渡し式が行われ、薄町長から伊藤正市町消防団長に小型動力ポンプの管そうが手渡されました。伊藤団長は「今後大切に活用し、併せて予防消防に努めていきます」と謝意を述べました。今回引き渡された小型動力ポンプは、第4分団第1部・新村班と、第5分団第5部・飯沢班に配備されます。



人権作文コンテストに関する熱心な取り組みが評価
人権作文コンテスト 西中に感謝状

12月7日、鈴木健福島地方務局若松支局長と町の人権擁護委員である長谷川孝志さん、嶋田純子さんが西会津中学校を訪れ、五十嵐正彦校長に法務省人権擁護局長および全国人権擁護委員連合会長からの感謝状を伝達しました。五十嵐校長は、「中学生という多感な時期に人権感覚を育むことは大事。今後もしっかりと取り組んでいきたい」と決意を新たにしました。



とどけよう みんなの心に 笑顔の花束を
西小わくわくフェスティバル

11月18日、西小わくわくフェスティバルが「とどけよう みんなの心に 笑顔の花束を」をスローガンに開催され、大勢の来場者でにぎわいました。当日は、音楽発表や劇、学習発表、総合発表などのステージ発表を児童の皆さんが堂々と披露したほか、最後には恒例の全校合唱が行われ、「音楽のおくりもの」を児童全員で歌い上げました。



街道に関する発表と特別講演
越後(会津)街道サミット開催

今年で3回目となる越後(会津)街道サミットが西会津中学校多目的ホールで開かれ、今回も町内外から大勢の街道ファンが会場に詰め掛けました。当日は、町観光ガイドの樽井清市さんや白井守さんなどによる街道に関する発表が行われたほか、須賀川市文化振興課の市川一秋さんが「越後街道と白河街道」と題し、特別講演を行いました。



道の駅にしあいづグランドオープン記念式典



駐車場の改良舗装工事が完了
道の駅グランドオープン

道の駅にしあいづの改良舗装工事が完了し、11月17日に「道の駅にしあいづグランドオープン記念式典」が行われました。

当日は、式典に先立ち、オープニングアトラクションとして大山さゆり太鼓の皆さんが勇ましい太鼓演奏を披露し、来場者を楽しませました。

式典では、薄町長が「より一層皆さんに親しまれる道の駅となるよう職員一丸となって取り組んでいきます」とあいさつしたあと、武藤道廣町会議長、瓜生信一郎県会議員、大村敦郡山国道事務所長が祝辞を述べ、式典の最後には来賓の皆さんによるテープカットを行い、道の駅の新たな門出を祝いました。

第26回西会津町少年の主張大会
日頃の思いを堂々と発表

12月2日、町公民館で第26回少年の主張大会が開催され、小学生から高校生まで、10人の児童・生徒の皆さんが、大勢の来場者の前で堂々と日頃の思いを発表しました。平和の大切さや町の魅力発信、伝統文化の継承、家族や自然について考えていることなど、さまざまな思いが自分たちの言葉で語られ、会場に集まった皆さんは熱心に聞き入っていました。



町除雪事業臨時技能員辞令交付式・出動式
本年度の除雪作業がスタート

12月5日、町除雪センターで町除雪事業臨時技能員辞令交付式・出動式が行われました。式では、22人の技能員を代表して野沢ステーション・チーフの鈴木暁さんが薄町長から辞令を受け取り、「万全な体制で除雪作業に取り組んでいきます」と決意表明しました。技能員の皆さんは、これから3月ごろまで町道などの除雪作業にあたります。





平成 29 年度 表彰者・感謝状受賞者 [敬称略]

■自治功労者表彰

特別功労表彰

(産業、経済の振興発展に貢献)



野沢民芸品製作企業組合
代表理事

伊藤 豊

野沢民芸品製作企業組合代表理事として55年余の長きにわたり伝統工芸品である会津張り子の保護・技術の継承に努め、産業としての民芸品製作に尽力するとともに、地域の継続的な雇用を創出するなど、地域経済の振興に大きく貢献。干支張り子「首振り招福卯」が平成23年の年賀切手のデザインに採用されるなど、メディアに取り上げられる製品も多く、本町のPRにおける功績も多大。

代表理事在職期間

昭和37年10月8日～現在

功労表彰 (町政の向上発展に貢献)

前原町財産区議会議長 故橋谷田 申 壬

功労表彰 (町民の模範となる善行及び行為)

おとめゆり保護監視員 故長谷川 謙 吉

■感謝状贈呈

自治区長永年勤続者 15年勤続

芹沼自治区長 武藤 新一

自治区長永年勤続者 10年勤続

西林東自治区長 土岐 充

自治区長永年勤続者 5年勤続

前森野自治区長 新田 博美

八重窪自治区長 武藤 武次

特別功労表彰

(町政の向上発展に貢献)



元西会津町消防団
第一分団長

五十嵐 幸一

町消防団員として35年2月の長きにわたり消防人として活躍。平成6年7月からは第一分団長を務め、団員の指導に励むとともに、施設設備の強化拡充や、近代的な消防技術の向上に尽力し、組織強化に貢献。

また、平成28年秋の叙勲では瑞宝単光章を受章。

消防団在職期間 [35年2月]

昭和36年4月16日～平成8年6月30日

分団長を務めた期間 [2年]

平成6年7月1日～平成8年6月30日

善行表彰 (町政の向上発展に貢献)

柴崎 高橋 至

納税貯蓄組合長永年勤続者 20年勤続

上野尻五の三納税貯蓄組合長 土田 英人

下野尻第六納税貯蓄組合長 新田 由美子

納税貯蓄組合長永年勤続者 15年勤続

黒沢第二納税貯蓄組合長 渡部 謙一郎

下野尻第七納税貯蓄組合長 菊地 久美子

納税貯蓄組合長永年勤続者 10年勤続

大畑納税貯蓄組合長 二瓶 忠雄



▲式典に出席した表彰者・感謝状受賞者の皆さん



▲納税貯蓄組合長 20年勤続の感謝状を受け取る土田英人さん



▲自治区長 15年勤続の感謝状を受け取る武藤新一さん

式では、まず薄町長が「長年にわたるご功績とご労苦に衷心より敬意と感謝を申し上げます。本町は今、将来を見据えた町の創生に向け、大変重要な局面を迎えています。町民の皆さんと同じ目線に立ち、さまざまなご意見を真摯に受け止め、活気あるふるさと・西会津町を取り戻すため、誠心誠意、全力で取り組んでいきます」と式辞を述べ、その後、青木照夫町議会議長があいさつを述べました。

続いて行われた表彰では、出席した受賞者の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈りその功績をたたえ、式の最後には、特別功労表彰を受賞した伊藤さんが「支えてくれた皆さんと関係各位に感謝します」と受賞者を代表して謝辞を述べました。

式典の後には、第2部の講演が開かれ、「みんなが幸せになる『移住』と題し、NPOふるさと回帰支援センター移住相談員の大宮美咲さんをコーディネーターに、町



▲コーディネーターを務めた大宮さん



▲第2部のトークセッションの様子

町では、本年度の自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会を11月21日に町公民館で挙行し、長年にわたり町政の向上発展などに尽くされた14人の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈りその功績をたたえました。

自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会 長年にわたる功績をたたえ表彰

への移住者5人によるトークセッションが行われました。移住した経緯やきっかけ、そのときのエピソード、また、こうすればもっと移住者が増えるのではないかと、といった話が移住者ならではの視点で語られ、聴講した皆さんは興味深く聞き入っていました。



議案19件、報告1件を審議

12月町議会定例会報告

12月8日から14日までを会期に開かれた平成29年第7回町議会定例会では、条例の一部改正や平成29年度補正予算など、町政が当面する重要な議案19件および報告1件が審議されました。

町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次の通りです。

町政の主要事項 報告から

喜多地方定住自立圏 共生ビジョンの策定——

本年6月に本町と喜多方市、北塩原村と喜多方市との間で締結した「喜多地方定住自立圏の形成に関する協定」に基づき、3市町村の関係団体や住民などの参画により策定作業を進めてきた「定住自立圏共生ビジョン」が意見公募などの手続きを経て11月27日

に決定されました。今後は、この共生ビジョンに基づき、3市町村が連携・協力しながら圏域全体の活性化と定住促進を図ってまいります。

あいづふるさと基金の廃止

「あいづふるさと基金」は、会津地方17市町村と福島県が出資し造成した基金で、これまでは「あいづふるさと市町村圏協議会」がその運用益を会津地方の活性化に向けて活用してきました。

しかし、近年における金利の低下や助成団体数の減少などにより、有効な基金事業ができなくなっていることから、平成30年3月をもって基金を廃止し、4月には協議会を解散する方針が決定されました。なお、出資金は基金廃止後に出資額に応じて返還されることから、現在本町が重



点施策として取り組んでいる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進や、いきいきとした魅力あるまちづくり、将来を担う人材の育成や子育て支援など、町の未来に向けた事業を推進するため、独自の基金を造成したいと考えています。

米の全量全袋検査

今年で6年目を迎える米の全量全袋検査については、本年度は9月18日から町内2カ所の検査場で実施しており、11月13日現在、約8万袋の検査を終えたところです。これまで放射性セシウムが基準値を超える米は検出されておらず、西会津産米の安全・安心が確認されています。

西会津小学校 プール整備事業——

西会津小学校のプール整備は、建設場所や形態についてあらためて関係者の意見を聞きながら決定することになっています。そのため、10月26日には小学校PTA役員を対象に、11月28日には保護者全員を対象に説明会を開催しました。そこで出された意見等を現在策定中の実施設計に反映していく予定です。

可決された議案

- ◆町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 Ⅱ 人事院規則の改正に伴う改正
- ◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正・町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正・町職員の給与に関する条例の一部改正 Ⅱ 人事院勧告に準じた給与等の改定
- ◆町税特別措置条例の一部改正 Ⅱ 関係法令の名称変更や一部改正に伴う条例の一部改正
- ◆地方創生拠点整備交付金事業 業菌床培養施設整備工事請負契約の変更契約 Ⅱ 外壁の張り替え工事等の追加による818万2,080円を増額
- ◆公の施設の管理に係る指定管理者の指定 Ⅱ 西会津町ケーブルテレビ施設（一般社団法人西会津ケーブルネット）、西会津国際芸術村（一般社団法人BOOT）
- ◆喜多地方広域市町村圏組合規約の変更 Ⅱ 「あいづふるさと基金」の廃止に伴う規約の変更

家庭での安全な除排雪の方法や、除排雪のルールとマナーを紹介 ご活用ください にしあいづ冬の暮らしガイド



町では、家庭での安全な除排雪の方法や、除排雪のルールとマナー、また、町や関係団体が実施している冬期間の福祉サービス事業など、冬の生活に必要な情報をまとめた「にしあいづ冬の暮らしガイド」を作成し、全世帯に配布しました。このガイドブックは、雪対策推進委員会が出された意見を踏まえ、役場の庁内検討組織である雪対策部会が中心となり編集作業を進めてきたもので、除雪時の注意事項や、冬の生活における注意点などを、イラスト付きで分かりやすく掲載しています。ぜひご活用ください。

自力での除雪が困難な高齢者世帯などを支援 今冬も雪処理支援隊を設置しました



町では、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援も難しい高齢者世帯などを支援するため、今冬も雪処理支援隊を設置しました。12月6日の雪処理支援隊辞令交付式では、薄町長が隊員に辞令書を手渡し、「安心して町で暮らせる冬の環境づくりにご協力をお願いします」とあいさつしました。雪処理支援隊は、今年の3月末まで対象者宅を見守りながら、除排雪の支援を行います。写真=左から矢部丈夫さん、渡部良次さん、平野眞さん、齋藤英行さん、渡部秀満さん、五十嵐勝彦さん

如法寺が所有する 14 世紀・南北朝時代の作と考えられる坐像 木造聖観音菩薩坐像を町指定重要文化財に



野沢・西平の如法寺が所有する「木造聖観音菩薩坐像」は14世紀の南北朝時代に製作されたものと考えられ、保存状態も良く、大変貴重なものであるため、町教育委員会では、町文化財保護条例に基づき、平成29年11月16日付けで町指定重要文化財に指定しました。一方で、昭和47年に町指定天然記念物に指定した「糠塚山の楊貴妃桜」については、現況調査の結果、主幹が2つに折れ、枯死寸前であり、再生が困難なことから、同日付けで指定解除となりました。

▲如法寺の木造聖観音菩薩坐像



INFOMATION

ぜひご覧ください



☎ 45-4461
（二社）西会津ケーブルネット

〈問い合わせ先〉

※毎日の放送スケジュールはテレビの電子番組表などを参考にしてください。

◆西会津の歴史

歴史文化に関する講演や発表などをまとめて放送します。

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
1月の放送案内

お知らせ

INFOMATION

乳がん検診の
受診費用を助成
しています

町では、乳がん検診の受診費用を助成しています。

◆対象者

平成30年3月31日時点の年齢が40歳以上で、本年度中に独自で乳がん検診を受診した人（前年度・今年度ともに町の乳がん施設検診を受診していない人、または今年度の国のがん検診推進事業「乳がん」に該当するが、まだ町の乳がん施設検診を受診していない人）

◆対象となる検診

マンモグラフィ（乳房X線撮影）を含む乳がん検診

◆助成金額

対象の検診費用のうち、自己負担分全額

◆申請方法

対象者に送付済みの「乳がん検診受診助成事業補助金交付申請（請求）書」に必要事項を記入し、次の書類を添えて提出してください。



住 所	喜多方市岩月町宮津字上ノ山 7923番地4
電話番号	0241-23-1618
敷地面積	1339.19平方メートル
延床面積	1708.53平方メートル
構造・規模	鉄筋コンクリート造 2階建て
工事期間	平成28年9月～平成30年12月
主な設備	人体炉3基（再燃焼炉付台車式寝棺炉）、お別れ室・待合室（各3室）、駐車場50台

斎場の予約方法が変わります

1月9日から（火）から「斎場予約システム」が稼働します。このシステムの稼働に伴い、これまで行っていた町役場宿直室および喜多方市役所宿直室での夜間の空き状況の確認および予約受け付けは行いませんのでご注意ください。また、葬祭業者を通して予約を行う場合は、24時間いつでも予約可能です。

斎場利用の予約申込先

予約方法	葬祭業者を通して予約する場合	個人で予約する場合
平日（日中）	予約システム	役場窓口
休日（日中）	予約システム	役場日直
夜 間	予約システム	予約できません

宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で山車と太鼓を修繕

野沢第2地区祭礼委員会では、本年度に一般財団法人自治総合センターからコミュニティ助成を受け、野沢祭礼の際に使用する山車と太鼓を修繕しました。この助成は、自治総合センターが地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として行っています。



喜多方税務署から
のお知らせ

◆確定申告書などへのマイナンバーの記載について
マイナンバー制度の導入に伴い、税務署等に提出する申告書や法定調書などにはマイナンバーおよび法人番号の記載が必要です。また、マイナンバーを記載した申告書などを提出する際は、本人確認書類（番号確認書類および身元

◆領収書および明細書（受診日・検診費用・実施医療機関が確認できるもの）
○検診結果書の写し（検診結果書がない場合は申請書内「健診結果」欄に結果を記入してください）
◆助成対象期間
平成29年4月1日～平成30年3月31日（受診した日）
◆申請締切
平成30年4月7日
◆申請書提出・問い合わせ先
健康福祉課・健康支援係
☎ 45-4532

確認書類）の提示または写しの添付が必要となります。
※e-Taxで提出する場合は不要。
◆マイナンバーカードでe-Tax（国税電子申告・納税システム）
e-Taxを利用すれば、税務署に向くことなく、インターネットを利用して確定申告書などを作成・提出することができます。なお、e-Taxを利用するには事前準備が必要です。
①マイナンバーカードを取得
②ICカードリーダーを用意
③国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」にアクセスして電子申告に必要な事前準備を行い、確定申告書などを作成・提出
※詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。
〈問い合わせ先〉
喜多方税務署・総務課
☎ 0241-24-5050
e-Tax・作成コーナーヘルプデスク
☎ 0570-01-5901

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。
◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆掲載料 1枠当たり5,000円/月
〈問い合わせ先〉
企画情報課・情報政策係 ☎ 45-4536

前進・応援・信頼 ふくしま駅伝

健闘！タイム縮めて41位

晩秋の福島路94・8歳、16区間を一本の襷たすきでつなぐ市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が11月19日に開催されました。町チームは、昨年よりもタイムを2分9秒短縮し順位を4つ下げたものの、大健闘でした。



第29回ふくしま駅伝には、本年度から正式参加となる町村混成チーム「希望ふくしま」を含め、県内59市町村から53チームが参加しました。町ふくしま駅伝実行委員会では、昨年受賞した敢闘賞のさらに上を目指すため、昨年コーチを務めた佐藤正光さんに新監督を依頼し、新たな体制で本年度のスタートを切りました。また、10数年ぶりにユニフォームを新調し、チーム全体の志気を高めました。町チームは大会に向けて7月から週3回、さゆり公園で練習を重ねてきました。さらに、10月にはさゆり公園で合



▲5区・伊藤大河選手



▲10区・佐藤茂哉選手



▲4区・齋藤溪選手

宿練習を行ったほか、本番前の試走は複数回行うなど、練習に励んできました。

大会当日は雪がちらつく寒い朝でしたが、1区の須藤帆南選手は強豪揃いの女子のエース区間を38位と好スタートを切り、続く2区の伊藤亜久里選手も順位を落とすことなく3区へとつなぎました。

そして、続く4区の齋藤溪選手は区間32位、5区の伊藤大河選手は区間27位、7区の長谷沼大秀選手は区間30位の力走を見せました。

また、最長区間の10区では7年連続出場の不動のエース、佐藤茂哉選手が区間26位の見事な走りで町チームを引っ張りました。

大会開始直前、体調不良により2名の選手が急遽交代となるアクシデントがありましたが、結果としては、昨年よりタイムを2分9秒も縮める大健闘！昨年より順位を4つ下げたものの、一人一人の力が十分に発揮できた、来年の躍進へとつながる大会になりました。

襷たすきつないだランナー

- 1区 須藤 帆南（女子） 西会津中3年
- 2区 伊藤亜久里 会津工業高1年
- 3区 雅楽川隼人（アズール）
- 4区 齋藤 溪 喜多方高2年
- 5区 伊藤 大河 西会津中2年
- 6区 齋藤 寛之 郡山自衛隊
- 7区 長谷沼大秀 西会津中3年
- 8区 三留 拓真 西会津中1年
- 9区 渡部優理奈 西会津中3年
- 10区 佐藤 茂哉（武蔵野学院大）
- 11区 荒明ありさ 西会津中3年
- 12区 山口 圭太 白土養老高2年
- 13区 高津 雄大 西会津中3年
- 14区 五十嵐俊平 喜多方桐蔭高年
- 15区 山内 奈菜 西会津中3年
- 16区 薄上 南平（パールR&D）

〔敬称略〕



▲16区・アンカーの薄上南平選手

「こゆりちゃん健康ポイント手帳」のすすめ

寒い冬でも健康づくりを楽しもう

町では、町民の皆さんが楽しみながら健康づくりを行えるよう、「健康ポイント事業」を行っています。健康ポイント事業に参加することで、自分の健康状態を知るとともに、目標を持って毎日を過ごすことができ、また、脳血管疾患、心疾患などの生活習慣病予防につながります。さらに、併せて県で行っている「ふくしま健民パスポート事業」に加えて、その特典も受けることができます。一緒に健康づくりに取り組んでみませんか。



参加するには？

「こゆりちゃん健康ポイント手帳」に書いてある日々の健康づくりメニューを行い、結果を記入しましょう。

「歩く」「野菜を食べる」「健診を受診する」「食や運動に関する行事やボランティアに参加する」など、健康づくりに関することを言い、記入することでポイントが貯まっています。

「こゆりちゃん健康ポイント手帳」は町役場健康福祉課・

健康支援係で発行していますので、お持ちでない場合はお気軽にお問い合わせください。

ポイントが貯まるとどうなるの？

健康ポイント事業に3ヶ月参加して300ポイント以上貯めると、そのポイントを「健康に関するグッズ」に交換できます。また、500ポイント以上貯めると、さらに「町共通商品券」がもらえます。

ふくしま健民カード

「ふくしま健民カード」は、県内の協力店でお得な特典が受けられる、健康づくりを応援するカードです。町の「こゆりちゃん健康ポイント事業」に参加して100ポイント以上貯めるとカードがもらえます。

また、「ふくしま健民カード」は、スマートフォンでダウンロードできる「ふくしま健民アプリ」を利用することで電子版を手に入れられるほ

すごいな！むし歯のない子

11月15日、3歳児3人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は3人でした。



福地陽太くん (高目) 長谷川春子ちゃん (縄沢) 五十嵐未来ちゃん (9町内1)

か、さらにポイントを貯めることでカードの色が変わったり、抽選で素敵なプレゼントが当たったりします。

戸籍の窓口 (11月受け付け分)

■ まちの人口

	12月1日現在	(前月比)
人口	6,578人	(-7人)
男	3,174人	(-7人)
女	3,404人	(±0人)
世帯	2,698世帯	(+3世帯)

■ お誕生おめでとう

赤城 由羽ちゃん	伸也・由李惠	松尾
渡部 佑真くん	哲也・飛鳥	さゆりが丘
大石 宙汰くん	丈二・菜摘	下野尻

■ ご結婚おめでとう

石川 将人	1町内
一登 成美	榎木平
渡部 龍之介	堀越
伊藤 彩華	柳津町
二瓶 諒太	西林
山本 華菜	猪苗代町
間瀬 央也	大舟沢
渡部 佳菜子	萱本

■ お悔やみ申し上げます

野口 テル (93)	圭一	母	5町内
小野崎 覺 (65)	みゆき	夫	8町内
廣木 トシノ (91)	正和	母	下小島
伊藤 悦子 (76)	善文	母	泥浮山
石本 雄也 (76)	翼	父	上野尻
福地 ひさ子 (98)	小柴龍夫	母	漆窪
猪俣 貞子 (95)	常三	母	道目
折笠 力 (82)	誠	父	宮野

Dream

聞いて！わたしの夢



佐藤 理央さん [3学年委員長]

ここでは、西会津中学校の生徒の皆さんに自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。今月は3年・佐藤理央さんです。

私の夢——

私は、将来医療に携わる人になりたいです。以前、ICU（集中治療室）を見学したときに、重病の患者さんを目にしてとても衝撃を受けました。私にとって当たり前だと思っていた健康は、とても幸せなものだと感じました。そのときに、病気やけがをした人たちを助けたい、寄り添いたいと強く思いました。将来は、少しでも人の役に立てる仕事に就きたいと考えています。

努力していること——

相手のことを考え、人と話すときはしっかりと目を見るようにしています。また、勉強にも積極的に取り組んでいます。

未来の自分に一言——

充実した生活を送っていますか。大変なことでもたくさんあると思いますが、あきらめずに責任と思いやりを持ち、頑張ってください。

Person

町民バトンタッチ

星 和樹さん [9町内2]

趣味は？ ゲーム	熱中していることは？ プラモデル作り
自分を一言で表現すると？ マイペース	最近感動したことは？ 家族と一緒に動物もののテレビを見て感動しました
これからやってみたいことは？ テーブルトークRPGを やってみたい	次の方を紹介してください T・Iさん（呼賀）
あなたのモットーは？ 何事もコツコツとやる	



伊藤 つかささん (12月号) から



先日は誘ってくれてありがとうございます。機会があればまた遊びましょう！

大切なものは何ですか？

剣道大会で団体3位に入賞したときの盾。団体のメンバーと力を合わせ、初めて入賞したときにもらったものです。部屋に飾っています。



Gallery

町民ギャラリー



今月は、フォトクラブどんぐり・山形さんの作品です。

山形 孝一さん

作品名 S L (エスエル)
作品紹介 自宅から歩いて3分ほどの場所で撮ったS Lです。日頃から「普段の生活の中にある風景」を写真に残したいと思い撮影しています。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その9

文：長谷沼 せいきち 清吉さん

慈善家 うえだ さじゅうろう よしのぶ 上田佐十郎義信の物語

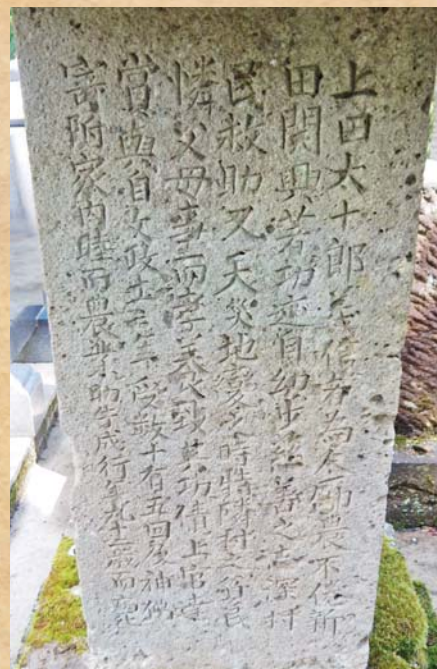
耶麻郡誌では慈善家として、喜多方の瓜生岩子とともに井谷の上田佐十郎を紹介しています。佐十郎は奇特篤行の人であり、深く神仏を尊敬し、天保4年(1833)から明治26年(1893)までの60年間に施米101俵2斗6升・粃263俵・金125両1分2朱を近隣の村々の人に与え、また、道路の辻に掛けて施した草鞋は12,500足に及んだといひます。これらの善行に対し、藩より7回賞され、明治に入っても県などから5回賞を受けています。

これだけの善行・施しがなぜできたのでしょうか。また、それだけの財をどのようにして得たのでしょうか。佐十郎は、新田開発や植林のほかに、炭焼き・紙漉き・中追馬など、年中休みなく家族と共に働いたのでしょう。そのためには、家族の和合なくしてはできません。佐十郎は、家内や村中の人と睦まじく祖父・両親に孝を尽くしたとあります。

昔はとにかく歩くしかありません。柴崎や橋屋から井谷を通り、風穴峠を越えて館原代官所などへの往来や、明治になり赤岩に小学校ができると、三河の子どもたちはここを歩いたのです。戊辰戦争のときも風穴峠付近で激戦になったといひます。佐十郎が施した12,500足の草鞋は多くの人々の履物として使われたことでしょう。

墓には太十郎と彫られています。これは、家督をゆずり隠居したからだと思われまふ。

(出典：耶麻郡誌・新郷村誌)



↑↓上田佐十郎義信の墓



編集後記

明けましておめでとうございませう。といひても、皆さんのお手元にこの広報紙が配布されるのは、おそらくまだ年末のころ。本年度から、お正月の団らんの中で広報紙を読んでもらえるよう、新年1月号を年内に配布するようにならせう。

町長、議長のごあいさつもそうなのですが、年男・年女の皆さんに新年の抱負を伺う「年男・年女インタビュー」では、まだ年も明けないうちから新年の抱負を考へてもらうという無理を毎年お願いしています。自分が頼まれたら、きつと「面倒だなあ」と思うに違いないのですが、そんなお願いにも快く応じてくださり、本当にありがたうございませう。この広報紙は、本当に皆さんのおかげで成り立っているのだなとあらためて実感しています。

新年が、皆さんにとって素敵な一年になりますように。

謹賀新年 長谷川祐一